

6 きょう土を開くB

13時間／p.84~113

担当名 (高根小 宮下寛基)

- 副読本で行う。「高師・天伯原の開たくと豊川用水」(6時間)を中心にして「神野新田のかんたくと牟呂用水」(2時間)と「糸の町豊橋」(2時間)は、軽く扱うようにする。

指導計画

		東京書籍	副読本「かがやく豊橋」
		本時の学習	●おもな学習活動 ・内容 ◇指導上の留意点
つかむ	地域の歴史にふれよう p.84~85 (副) 豊橋市の発展 p.125~130 (2時間)	○地域の中で、今も残り伝わる史跡など、歴史を伝えるものを探し、かかわりの深い人物と結びつけながら関心をもつ。 ・滝を使った用水と坂本養川 ・寒天と小林栄左衛門 ・縄文時代の遺跡と宮坂英一	● 豊橋の市街地の昔と今の写真、自分の住んでいる地域の昔と今の写真を見比べて、気づいたことを発表する。 p.125, 126 ・自然 ・建物 ・人々の暮らし ◇写真そのものから読み取れることにとどまらず、そこから考えられることについても発表させる。 ● 豊橋がどのように発展し、どのような人々が工夫や努力をしたのか調べる計画を立てる。 p.127~130 ◇東三河チャイルドホームページ http://www.childhp.sakura.ne.jp/
	滝を使った用水 p.86~87 (副) 神野新田のかんたくと牟呂用水 p.131~136 (2時間)	○滝や川など、用水開発の現地を見て歩き、現地の様子を絵や文に表し、発表しあう。 ・吹き出し口にある滝や川を渡るといはい、人工的につくられたものだ。 ・用水には、地形とつながる様々な人の工夫がある。	● 神野新田が開発されていった過程を調べる。 p.131~136 ・毛利新田 ・神野金之助 ・牟呂用水 ・33体の観音像 ◇新田開発の工夫にかかわる人物やもの、ことをつなげて考えさせる。
	川を横切る用水 p.88~89 (副) 糸の町とよはし p.137~142 (2時間)	○用水の工夫をいろいろと探り、用水づくりに関係する坂本養川について発表する。 ・2本の川が交差しているふしぎさに気づき、理由を考える。 ・自然の川と用水が交差している。	● 豊橋が糸の町といわれるほど発展したわけを調べる。 p.137~142 ・小淵志ち ・製糸業の起こり ・女工さんの生活 ・製糸業のおとろえ ◇資料をもとに、人物の業績やその背景、当時の人達の強い生活改善への願いがあったことなどを考えさせる。
調べる	村人たちの願い p.90~91 1時間 博物館で調べる p.92~93 2時間 大河原用水を伝える p.94~95 1時間 大河原用水をさぐる p.96~97 1時間 くりこしげきをつくる p.98~99 1時間 (副) 高師・天伯原の開たくと豊川用水 p.143~148	○学習問題にそくして、坂本養川が用水をつくる願いをなぜ何度も出しているかを調べ、話し合う。 ・用水がつくられる前、ひでりや水不足が続く田沢村では、水あらいがおこり、新田つぶしも続いた。 ・名主になった養川は、技術を学んで用水づくりを決心した。	● 開拓前の高師・天伯原の様子を調べる。 p.143, 144 ・開たく ・開こん ・軍用地 ・開こんに使った道具 ● どんな作物がどれだけ取れていたのか調べる。 p.145 ◇該当校区の学校であれば、校区誌も参考にする。 ◇高師・天伯原の開拓 http://www.asahi-net.or.jp/~vn6i-hgwr/kaitaku/kaitaku.htm ● 豊川用水をつくる願いをなぜ何度も出しているのかを調べ、話し合う。 p.146 ◇豊川用水完成以前の状況を知っている地域の農家の方に話を聞けるとよい。 ● 豊川用水完成後の農業の様子について調べよう。 p.147 ・宇連ダム ・大野頭首工 ◇豊川用水ホームページ

	(6時間)		http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/ ●豊橋で作られている農作物について調べる。 p. 148 ◇JA とよはし http://www.ja-toyohashi.com/top/top.html
まとめ	用水を開発して p. 100～101 先人の足あと p. 102～103 (副) 戦後の産業の発展 p. 149～152 (2時間)	○これまでに学習したことを紙芝居などにしてまとめ、発表する。 ◇「ことば」を参考にして学習の要点を振り返り、紙芝居の場面づくりに生かす。	●戦後の産業の発展について調べる。 ・戦後に建てられた主な工場 ・豊橋駅を中心とした整備 ・三河港の発展 ●豊橋の発展につくした先人の働きによって、人々のくらしがどのように変わってきたのか話し合う。

